

身体に対する帯磁被服の作用に就いて

日大歯理工
松本雅之和洋女子大
我妻美奈子江戸川芸術病院
伊藤秀三郎

目的

帯磁被服の身体に対する作用を検討する。

方法

被験者は病院の職員並びに入院患者の介護者(家庭婦人)である。

被験者は次に挙げる三種の帯磁被服の一つを装着する。

① 帯磁ベルト

② 帯磁マット

③ 帯磁パット

質問紙法に依つて身体特に「ニリ」に対する作用を検討する。

尚グミーを利用した対象実験を行う。

結果

身体に対する作用を認め、「ニリ」をよりは解消されるように思われる。